沼山古墳／トンボ玉・ガラス小玉
（奈良県立橿原考古学研究所
附属博物館）

藤の森古墳／ガラス勾玉
（大阪府教育委員会）

大阪府立近つ飛鳥博物館

令和8年度 秋季特別展

瑠璃

RURI

藤の森古墳／
ガラス勾玉
（大阪府教育委員会）

宇津久志1号墳／重層ガラス玉
（長岡京市教育委員会）

一須賀古墳群D−4号墳／
金銅製花形飾り
（大阪府立近つ飛鳥博物館）

2026
10/10(土)
～12/6(日)

−古代ガラス国産化の軌跡−

牽牛子塚古墳／
七宝製亀甲形飾金具
（重要文化財・
奈良県立橿原考古学
研究所附属博物館）

薬師堂東遺跡／ガラス小玉鋳型
（本庄市教育委員会）

伝福岡県福岡市早良出土／
奈良三彩小壺・ガラス小玉
（奈良国立博物館）

新沢千塚126号墳／金層ガラス玉・雁木玉
（重要文化財・東京国立博物館）

蔀屋北遺跡／
ガラス小玉・棗玉
（大阪府教育委員会）

開館時間
午前10時～午後5時
（入館は午後4時30分まで）

休館日
毎週月曜日
［月曜日が祝休日の場合は火曜日が休館］

入館料
一般1,000円（800円）
65歳以上・高大生700円（560円）
- 中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料
- （　　）内は20名様以上の団体料金

特別展の詳細は
こちらを
ご覧ください！

【主　催】大阪府立近つ飛鳥博物館
【協　力】滋賀県立安土城考古博物館
【後　援】太子町、太子町教育委員会、河南町、河南町教育委員会、
百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議事務局、
歴史街道推進協議会、近畿日本鉄道株式会社

世界遺産 World Heritage Site of Osaka
百舌鳥・古市古墳群
Mozu-Furuichi Kofun Group

歴史街道 REKISHI KAIDO

アスカディア・古墳の森
大阪府立 近つ飛鳥博物館
OSAKA PREF. CHIKATSUASUKA MUSEUM
〒585-0001 大阪府南河内郡河南町大字東山299番地
TEL 0721-93-8321 FAX 0721-93-8325
https://chikatsu-asuka.jp
指定管理者：AKN 共同事業体

瑠璃 －古代ガラス国産化の軌跡－

生活に欠かせず、時に私たちを工芸品として魅了するガラス製品は、紀元前2300～2100年頃に古代メソポタミアで生み出されました。その後は、地中海沿岸やアジア各地へと製作技術が伝わり、特色あるガラス製品が編み出されていきました。

日本には弥生時代にガラス製品が初めて伝えられ、7世紀後半に原材料からガラスを製造することが可能になるまで、長らく海外からの輸入にたよっていました。弥生時代～古墳時代の遺跡では、海外から入手したガラスの再加工を行っていたことを示す鋳型や失敗品などが出土しており、ガラスの国産化に挑んだ人々の姿を伝えてくれています。

本展では、古墳時代から飛鳥時代の遺跡から出土したガラス製品を中心に、舶来品だったガラスが国産化されていく軌跡を紹介します。海外との関係なくして語ることができず、今もなお私たちを魅了する古代のガラス製品とその製作技術をご覧ください。



星塚2号墳／ガラス・石製玉類（奈良国立博物館）



風吹山古墳／ガラス・石・金属製玉類（岸和田市教育委員会）



東奈良遺跡／ガラス勾玉鋳型（国（文化庁）保管）
ガラス小玉鋳型（茨木市教育委員会）

●講演会●

古代ガラスの流通と製作技術

■会　場／博物館地階ホール
■定　員／150名　■受講料／500円

第1回　10月25日（日）13:30～15:00

古代の日本列島における
ガラス玉の製作とガラスの製造
大賀 克彦 氏（奈良女子大学 協力研究員）

第2回　11月7日（土）13:30～15:00

考古学と科学が解き明かす古代ガラス
阿部 善也 氏（東京電機大学 助教）

第3回　11月15日（日）13:30～15:00

瑠璃に挑む―古代ガラス復元への軌跡―
迫田 岳臣 氏（倉敷芸術科学大学 主任技術員）

第4回　11月29日（日）13:30～15:00

日本古代のガラス器について
―正倉院のガラス器を中心に―
吉澤 悟 氏（奈良国立博物館 学芸部長）

●歴史ウォーク●

飛鳥・藤原の古代ガラスの軌跡を歩く

10月17日（土）10:00～16:00

■行　程／畝傍御陵前駅（集合）～本薬師寺跡～藤原宮跡～藤原宮跡資料館～大官大寺～飛鳥資料館～飛鳥池遺跡～奈良県立万葉文化館（解散）
■定　員／40名（事前申込制・詳細は当館HPをご覧ください）
■参加費／1,000円

●ワークショップ●

ガラス勾玉を作ってみよう

11月23日（月・祝）11:00～15:00

■対　象／小学校4年生以上
■定　員／20名（事前申込制・詳細は当館HPをご覧ください）
■参加費／1,500円（材料費を含む）

●土曜講座●

古代ガラスの生産
―二次生産から一次生産へ―

10月31日（土）14:00～15:00

久永 雅宏（当館学芸員）
■会　場／博物館地階ホール　■定　員／150名
■受講料／無料

●学芸員による展示解説●

10月11日（日）、10月18日（日）
11月3日（火・祝）、11月14日（土）
11月23日（月・祝）
12月6日（日）

■会　場／博物館地階特別展示室
■時　間／各回 14:00～14:30

●弥生・近つ<交換>講演会●

〈弥生文化博物館〉

弥生時代に始まる古代ガラスの流通
―近つ博秋季特別展の見どころ―

10月24日（土）14:00～15:30

久永 雅宏（当館学芸員）
■会　場／弥生文化博物館ホール・サロン
■定　員／130名　■受講料／無料（ただし、要入館料）

〈近つ飛鳥博物館〉

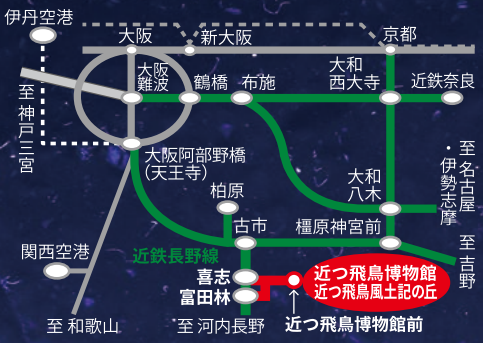
武器と弥生人
―弥生博秋季特別展の見どころ―

11月1日（日）14:00～15:00

田中 美玖 氏（弥生文化博物館 専門学芸員）
■会　場／近つ飛鳥博物館地階ホール　■定　員／150名
■受講料／無料

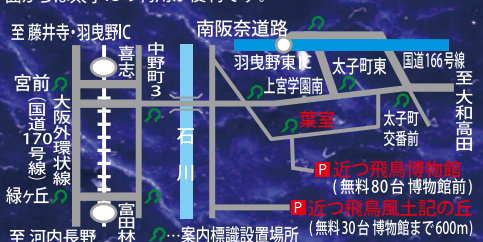
鉄道・バス案内図

近鉄長野線喜志駅または富田林駅下車、バス「近つ飛鳥博物館前」行き終点下車、徒歩600m。大阪阿部野橋駅から河内長野行き準急利用で喜志駅まで約30分です。



道路案内図

高速道路利用の場合は、大阪方面からは羽曳野東ICが、橿原方面からは太子ICの利用が便利です。



大阪府立弥生文化博物館 令和8年度秋季特別展

ヒト・戦い ― 武器を手にした弥生人 ―

10月17日（土）～12月13日（日）

アスカディア・古墳の森
大阪府立 近つ飛鳥博物館
OSAKA PREF. CHIKATSUASUKA MUSEUM
指定管理者：AKN 共同事業体

詳しくは当館のホームページまで！